

取扱説明書

取扱説明書 (本書)

最初に読んでください。基本的な使いかたを説明しています。

PDFマニュアル (Webからダウンロード)

リファレンス・マニュアル

本機のすべてのパラメーターについて解説しています。



PDFマニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<https://www.roland.com/jp/manuals/>

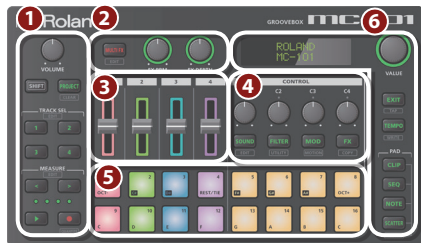


2. 製品名「MC-101」を選びます。

本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.20)と「使用上のご注意」(P.23)をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 共通セクション 1

[VOLUME] つまみ

OUT 端子の音量を調節します。

[SHIFT] ボタン

[SHIFT] ボタンを押しながら機能名 ([EDIT] など) が書かれたボタンを押すと、各機能が実行されます。

[PROJECT] ボタン

プロジェクト・メニュー画面が表示されます。

プロジェクトの読み込みや設定をすることができます。

SHIFT ボタンと組み合わせることで CLEAR ボタンとして機能します。

[CLEAR] ボタンと各種ボタンを組み合わせると、ステップ・シーケンサーの記録内容やフレーズの内容が消去されます。

TRACK SEL [1] ~ [4] ボタン

トラックを選びます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [SEL] ボタンを押すと、トラックの設定メニューが開きます。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

MEASURE [<] [>] ボタン

編集する小節を移動します。

[SHIFT] ボタンを押しながら MEASURE [<] [>] ボタンを押すと、小節長の編集画面が表示されます。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

小節表示インジケーター

4 つのインジケーターで編集中の小節を表示します。

【▶】(再生/停止) ボタン

再生を開始したり停止したりします。

【●】(録音) ボタン

PAD を使った演奏情報の記録のオン/オフを設定します。

【SHIFT】 ボタンを押しながら 【●】 (録音) ボタンを押すと、QUANTIZE が ON になります。

➡ 詳しくは『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

2 マスター・エフェクト・セクション

【MULTI FX】 ボタン

選ばれているエフェクトをオン/オフします。

【SHIFT】 ボタンを押しながら 【MULTI FX】 ボタンを押すと、MULTI FX の設定画面が表示されます。

➡ 詳しくは『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

【FX PRM】 【FX DEPTH】 つまみ

エフェクトのかかり具合を調節します。

3 ミキサー・セクション

レベル・フェーダー

音量を調節します。

4 コントロール・セクション

【C1】 ～ 【C4】 つまみ

操作に応じて、必要な機能が割り当てられます。

【SOUND】 ボタン

【C1】 ～ 【C4】 つまみの機能が、トラック 1 ～ 4 の SOUND パラメーターに割り当てられます。

【SHIFT】 ボタンを押しながら 【SOUND】 ボタンを押すと、サウンドの設定画面が表示されます。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。

【FILTER】 ボタン

【C1】 ～ 【C4】 つまみの機能が、トラック 1 ～ 4 の FILTER パラメーターに割り当てられます。

【SHIFT】 ボタンを押しながら 【FILTER】 ボタンを押すと、UTILITY 画面が表示されます。

[MOD] ボタン

[C1] ～ [C4] つまみの機能が、トラック 1 ～ 4 の MOD パラメーターに割り当てられます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [MOD] ボタンを押すと、MOTION 画面が表示されます。

[FX] ボタン

[C1] ～ [C4] つまみの機能が、トラック 1 ～ 4 の FX パラメーターに割り当てられます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [FX] ボタンを押すと、COPY 画面が表示されます。

5 パッド・セクション

パッド (16 個)

選んだパッド・モードによって、パッドの動作が変わります。

6 共通セクション 2

ディスプレイ

操作に応じて、必要な情報が表示されます。

[VALUE] ダイアル

回す：値の変更や画面のスクロールなどに使用します。動作は画面の表示により変化します。

押す：変更した値を決定します。または、操作を実行します。

[EXIT] ボタン

元の画面に戻ります。

画面によっては、実行中の機能を中断します。

[SHIFT] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押すと、TAP 画面が表示されます。

[TEMPO] ボタン

[TEMPO] ボタンが点灯している場合、ディスプレイと [VALUE] ダイアルで TEMPO 設定を変更できます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [TEMPO] ボタンを押すと、WRITE 画面が表示されます。

PAD [CLIP] ボタン

パッドを CLIP モードに切り替えます。CLIP モードでは、TRACK SEL [1] ～ [4] ボタンで、選んでいるトラックのクリップを切り替えることができます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [CLIP] ボタンを押すと、CLIP モードに関連した設定ができます。

PAD [SEQ] ボタン

パッドを SEQ モードに切り替えます (P.15)。SEQ モードでは、点灯しているパッドでメロディーを打ち込んだり、ドラムを打ち込んだりすることができます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [SEQ] ボタンを押すと、SEQ モードに関連した設定ができます。

PAD [NOTE] ボタン

パッドを NOTE モードに切り替えます (P.14)。NOTE モードでは、点灯しているパッドでメロディーやドラムを演奏することができます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [NOTE] ボタンを押すと、NOTE モードに関連した設定ができます。

PAD [SCATTER] ボタン

パッドを SCATTER モードに切り替えます。SCATTER モードでは、点灯しているパッドで SCATTER 効果をかけることができます。

[SHIFT] ボタンを押しながら [SCATTER] ボタンを押すと、SCATTER モードに関連した設定ができます。

フロント・パネル



A PHONES 端子

ヘッドホンを接続します。

ボトム・パネル (本体裏面)

電池を入れる

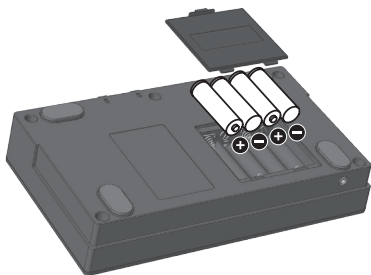
USB バス電源以外に、市販の単 3 形ニッケル水素電池またはアルカリ電池を使って使用することができます。

※ USB バス電源供給時は、電池を入れていても USB バス電源で動作します。

1. バッテリー・カバーをはずします。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

2. 電池の向きに注意して、電池をバッテリー・ケースに入れます。



3. バッテリー・カバーを閉めます。

※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」(P.20)、「使用上のご注意」(P.23)に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

電池の交換時期

電池が消耗してくると、画面にメッセージが表示されます。

その場合は、新しい電池と交換してください。

リア・パネル (機器の接続)

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞って、すべての機器の電源を切ってください。



B [POWER] スイッチ

電源をオン／オフします。

C (USB) 端子

市販の USB2.0 ケーブル (B タイプ) でパソコンに接続します。USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりすることができます。パソコンに接続するには USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは、ローランドのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

➡ <https://www.roland.com/jp/support/>

※ USB バス電源供給時は、USB バス電源で動作します。

D SD カード・スロット

工場出荷時は、付属の SD カードを挿入した状態で SD カード・プロテクターが固定されています。SD カードを取り出す場合は、ネジをはずしてください。

SD カードには、本機の各種データ (設定、音色、サンプルなど) が保存されます。

※ SD カードへのアクセス中は、絶対に電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。

※ メモリー・カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。

E MIDI 端子

外部 MIDI 機器と接続して、MIDI メッセージを送受信します。

F OUT L/MONO、R 端子

オーディオ信号の出力端子です。アンプやモニター・スピーカーに接続します。

モノで出力するときは、L/MONO 端子に接続してください。

電源を入れる

1. MC-101 → 接続した機器の順番で、電源を入れます。

2. 接続している機器の電源を入れて、音量を適当な位置まで上げます。

電源を切る

1. 接続した機器 → MC-101 の順番で、電源を切ります。

MC-101 の概要

MC-101

システム設定

プロジェクト

プロジェクト設定

ユーザー・サンプル

トラック 1 ~ 4

トーン/
ドラム・キット/
ルーバー

MFX

EQ

トラック・ミックス

トラック 1 ~ 4

トラック 1 ~ 4

リバーブ

コーラス/
ディレイ

マルチ・
エフェクト

マスター・
コンプレッサー

イコライザー

MASTER FX 設定

トラックの種類と内部構成

タイプ: トーン

トーン

MFX

クリップ 1

クリップ 16

タイプ: ドラム

ドラム・キット

MFX

クリップ 1

クリップ 16

タイプ: ルーバー

ルーバー

MFX

クリップ 1

クリップ 16

タイプ: なし

なし

プリセット

ドラム・キット

トーン

ブラウザー
(読み出し)

SD カード

オーディオ・
データ

プロジェクト・
データ

保存
トーン読み出し

MC-101 は最大 4 個までの独立したトラックを同時に演奏することができます。

また、それぞれのトラックには最大 16 個までのクリップを設定することができます。これらのクリップを切り替えて演奏することができます。

トラックとは？

トラックには 3 種類のタイプがあります。

- トーン：** 主に音階のあるクリップを扱うトラックです。
- ドラム：** ドラムやパーカッションのクリップを扱うトラックです。
- ルーパー：** オーディオ・ループを扱うトラックです。SD カードからオーディオ・データをインポートしたり、トラックの音を録音したりして再生できます。タイム・ストレッチに対応しています。

クリップとは？

各トラックで演奏するための情報の集まりを、「**クリップ**」と呼びます。トラックのタイプにより、含まれる情報は異なります。

トラック・タイプ：トーン

- クリップ設定：** クリップの名前、クリップに関する情報や設定です。
- トーン：** 音色の設定です。エフェクト (MFX) の設定も含まれます。(*1)
- フレーズ：** 演奏情報や音色の変化情報 (MOTION) です。

トラック・タイプ：ドラム

- クリップ設定：** クリップの名前、クリップに関する情報や設定です。
- ドラム・キット：** 音色の設定です。エフェクト (MFX) の設定も含まれます。(*1)
- フレーズ：** 演奏情報や音色の変化情報 (MOTION) です。

トラック・タイプ：ルーパー

- クリップ設定：** クリップの名前、クリップに関する情報や設定です。
- ルーパー・サンプル：** ルーパーで再生するオーディオ・データです。
- ルーパー設定：** ルーパー・サンプルの再生方法の設定です。
- MFX：** エフェクト (MFX) の設定です。(*1)
- フレーズ：** 音色の変化情報 (MOTION) です。

*1 クリップではなくトラックの設定を使用することもできます。

プロジェクトとは？

MC-101 では、1 曲のデータを「プロジェクト」という単位で管理します。プロジェクトは SD カードに保存します。

プロジェクトの中には、トラック、クリップ、トーンのデータ、使用するサンプルのデータなどが含まれます。

エディットした内容を残したいときは、プロジェクトを保存してください。

ブラウザーとは？

作業中のプロジェクトに必要な素材を選んで使用することができます。

プリセット・トーン／ドラム・キットを選ぶ

プリセットされているトーンやドラム・キットをブラウズし、使用することができます。

SD カード上のプロジェクトから選ぶ

クリップ、トーン、ドラム・キットをブラウズし、使用することができます。

SD カード上のオーディオ・ファイルから選ぶ

ルーパー・トラックで再生するルーパー・サンプルとして使用することができます。

または、トーンやドラム・キットのユーザー・サンプルとして使用することができます。

マスター FX 設定

MC-101 は、5 つのマスター・エフェクトを搭載しています。

これらのエフェクトの設定はプロジェクトに保存されます。

- **リバーブ (Reverb)**

音に残響を加えます。

- **コーラス／ディレイ (Chorus/Delay)**

音に広がりや厚みを持たせたり（コーラス）、山びこのように音を遅らせたり（ディレイ）します。

- **マスター・コンプレッサー (Master Compressor)**

マスター出力の大きな音の部分を圧縮して、音量のばらつきを小さくします。

- **マルチ・エフェクト (Multi FX)**

フィルターやオーバードライブなど、さまざまなエフェクトの中から 1 つを選んで使用することができます。

- **イコライザー (Equalizer)**

3 バンド（低域／中域／高域）のイコライザーです。

ユーザー・サンプル (USER SAMPLE)

トーン、ドラム・キットで使用するユーザー・サンプルです。

プロジェクトを読み込む／再生する

MC-101 では、1 曲のデータを「プロジェクト」という単位で管理します。プロジェクトは SD カードに保存されます。



1. **[PROJECT]** ボタンを押します。
2. **[VALUE]** ダイアルで **LOAD** メニューを選び、**[VALUE]** ダイアルを押して決定します。
3. **[VALUE]** ダイアルで **LOAD** したいプロジェクトを選び、**[VALUE]** ダイアルを押して決定します。

確認メッセージが表示される場合は、**[VALUE]** ダイアルを押して決定します。

4. **[▶]** (再生／停止) ボタンを押します。

プロジェクトが再生されます。

クリップを変更する (CLIP モード)



1. **[CLIP]** ボタンを押します。

パッドが CLIP モードになります。

パッドで再生するクリップを選ぶことができます。

2. パッドを押して、クリップを選びます。

TRAK SEL [1] ～ [4] ボタンで選んでいるトラックのクリップが変更されます。

トーン／ドラム・キットを選ぶ



1. PAD [NOTE] ボタンを押します。

パッドが NOTE モードに設定されます。

2. [VALUE] ダイアルでトーン／ドラム・キットを変更します。

メモ

- [VALUE] ダイアルを押すと、詳細なメニューが表示されます。
- パッドを叩くと選んでいるトーン／ドラム・キットの音が確認できます。

SD カードからクリップを取り込む



1. プロジェクトの再生を停止します。

[▶] ボタンが点滅していることを確認します。

[▶] ボタンが点灯している場合は、[▶] ボタンを押して再生を停止させます。

2. [PROJECT] ボタンを押します。

3. [VALUE] ダイアルでクリップの IMPORT メニューを選び、[VALUE] ダイアルを押します。

4. [VALUE] でインポートしたいクリップの入っているプロジェクトを選び、[VALUE] ダイアルを押します。

5. **[VALUE]** **ダイヤル**でインポートしたいクリップを選び、**[VALUE]** **ダイヤル**を押します。

6. **[VALUE]** **ダイヤル**でインポートする先を選び、**[VALUE]** **ダイヤル**を押します。

パッドで演奏する (NOTE モード)

パッドを NOTE モードにすると、点灯しているパッドで演奏できます。

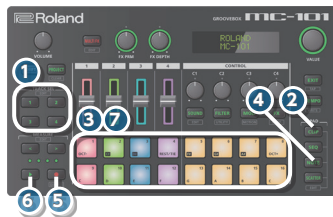


1. 演奏したいトラックの **[SEL]** ボタンを押します。

2. **[NOTE]** ボタンを押します。

パッドが NOTE モードになります。
点灯しているパッドを押して演奏します。

パッドの演奏を記録する



1. TRACK SEL [1] ～ [4] ボタンで、トラックを選びます。

2. PAD **[CLIP]** ボタンを押します。

3. パッドを押して、録音先のクリップを選びます。

4. PAD **[NOTE]** ボタンを押します。

5. **[●]** (録音) ボタンを押して、点灯させます。

6. **[▶]** (再生／停止) ボタンを押して、再生します。

7. パッドを演奏して記録します。

ステップ・シーケンサーについて

クリップに含まれるフレーズ・データは、ステップ・シーケンサーによってトラックごとに再生されます。

パッド・モードをSEQに設定すると、各ステップで発音される内容を確認／編集できます。

トラック・タイプがトーンのときは、[VALUE] ダイアルでステップを選び、[VALUE] ダイアルを押して決定すると、そのステップに入力されているノート情報を [C1] ～ [C4] つまみで編集できます。

コードの場合は、[VALUE] ダイアルを回してコードの構成音を1つずつ確認／編集できます。

トラック・タイプがドラムのときは、[VALUE] ダイアルでドラム・インストを選ぶとそのドラム・インストがどのステップで発音されるか、パッドに表示されます。

メモ

[SHIFT] ボタンを押しながらパッドを押すと、その発音タイミングの詳細パラメーターを [C1] ～ [C4] ボタンで、確認／編集ができます。

スキッターを使う (SCATTER モード)

「スキッター」は、ビートに同期するエフェクトです。再生音にデジタルなグルーブを与えることができます。



1. **[▶] (再生) ボタン**を押して、プロジェクトを再生します。
2. **PAD [SCATTER] ボタン**を押します。
3. **パッド**を押します。

パッドごとにさまざまな効果がかかります。

各種設定をする

設定を変更する

本体の設定を変更します。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[FILTER]** ボタンを押します。

UTILITY メニューが表示されます。

2. **[VALUE]** ダイアルを回してメニューを選び、**[VALUE]** ダイアルを押して、各種設定をします。

➡ 詳しくは、『リファレンス・マニュアル』（PDF）をご覧ください。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

本体の設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。



1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[FILTER]** ボタンを押します。

UTILITY メニューが表示されます。

2. **[VALUE]** ダイアルで「FACTORY RESET」を選び、**[VALUE]** ダイアルを押します。

確認のメッセージが表示されます。

3. 実行するときは、[VALUE] ダイアルを押します。

中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

- ※ SD カードの内容は、ファクトリー・リセットで工場出荷時に戻りません。工場出荷時の SD カードの情報について詳しくは、以下の URL をご覧ください。

➡ <https://www.roland.com/jp/support/>

- ※ MC-101 付属の SD カードの内容をバックアップする場合は、パソコンを使い他のメディアへ保存しておいてください。

新しい SD カードを使用する

新しい SD カードを使うときは、MC-101 でフォーマットします。



1. SD カード・プロテクター（リア・パネル）のネジをはずします。

SD カード・プロテクターはネジ止めされています。カード・プロテクターをはずすときは、プラス・ドライバーでネジを取りはずしてください。

2. SD カードを交換します。

必要に応じて SD カード・プロテクターを取り付けます。

- ※ SD カードへのアクセス中は、絶対に電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。

3. [SHIFT] ボタンを押しながら [FILTER] ボタンを押します。

UTILITY メニューが表示されます。

4. [VALUE] ダイアルで、[SD CARD FORMAT] を選び、[VALUE] ダイアルを押します。

確認のメッセージが表示されます。

5. [VALUE] ダイアルを押して実行します。

中止するときは、[EXIT] ボタンを押します。

主な仕様

ローランド MC-101 : グループボックス

電源	ニッケル水素電池またはアルカリ電池 (単 3 形) × 4、USB 端子より取得 (USB バス電源)
消費電流	500mA
連続使用時の電池の寿命	ニッケル水素電池 : 約 4.5 時間 アルカリ電池 : 約 3 時間 ※ 電池の仕様や使用状態によって異なります。
外形寸法	174 (幅) × 133 (奥行) × 58 (高さ) mm
質量 (電池含む)	554g
付属品	取扱説明書、アルカリ電池 (単 3 形) × 4、保証書、ローランド ユーザー登録カード

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

火災・感電・傷害を防止するには

△ 警告と △ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表示しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。具体的な注意内容は、△の中に描かれています。左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。具体的な強制内容は、●の中に描かれています。左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないことはしないでください。故障の原因になります。



個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



警告

次のような場所で使用や保管はしない

- ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- ・ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- ・ 湯気や油煙が当たる場所
- ・ 塩害の恐れがある場所
- ・ 雨に濡れる場所
- ・ ほこりや砂ぼこりの多い場所
- ・ 振動や揺れの多い場所
- ・ 風通しの悪い場所



警告

不安定な場所に設置しない

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴になる恐れがあります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器（花びんなど）を置かないでください。ショートや誤動作など、故障の原因となることがあります。



⚠ 警告**異常や故障が生じたときは電源を切る**

次のような場合は、直ちに電源を切って、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お子様がけがをしないように注意する

お子様のいる場所で使用する場合やお子様が使用する場合は、必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

**落としたり、強い衝撃を与えたりしない**

破損や故障の原因になります。

**⚠ 警告****電池の取り扱いに注意する**

間違った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などの危険があります。次のことに注意してください。



- 加熱、分解したり、または火や水の中に入れたりしないでください。
- 日光、炎、または同様の過度の熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 充電電池／充電器は、必ず電池メーカーで指定された充電電池と充電器の組み合わせでお使いください。充電電池／充電器に付属の注意事項を必ず最後まで読み、注意事項を守って正しくお使いください。

**⚠ 注意****電源コードやケーブルは煩雑にならないように配線する**

足に引っかけると、本機の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。

**上に乗ったり、重いものを置いたりしない**

転倒や落下によって、けがをする恐れがあります。



移動するときはすべての接続をはずす
ケーブルを接続したまま移動すると、破損や故障の原因になります。



注意

電池を取り扱うときの注意

電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください。

- 電池の+と-を間違えないように、指示どおり入れてください。
- 新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 長時間使用しないときは、記憶した内容をバックアップし、電池を取り出しておいてください。
- 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。
- 使用済みの電池を捨てるときは、各地域のゴミ分別収集のしかたに従ってください。



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

取りはずしが可能な部品

- SD カード (P.7)
- SD カード・プロテクター (P.17)
- ネジ (P.17)

やけどしないように注意する

使いかたによっては電池が高温になることがありますので、やけどしないよう注意してください。



注意

液漏れした電池の取り扱いに注意する

- 液は素手で触らないでください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにきれいな水でよく洗い流したあと、直ちに医師に相談してください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚にやけどや炎症を起こす恐れがあります。きれいな水でよく洗い流したあと、直ちに医師に相談してください。
- 柔らかい布で電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。



電池について

- 電池を入れる／取り出すときは、本機の電源を切り、他の機器との接続をはずしてください。
- 付属の電池は動作確認用のため、寿命が短い場合があります。
- 電池で使用する場合はアルカリ電池、ニッケル水素電池を使用してください。

設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、電源を切ってください。

- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴が付く（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- お客様が本機または付属品を分解（取扱説明書に指示がある場合を除く）、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造切切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。

- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- 周囲に迷惑がかからないように、音量に十分注意してください。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは、次の点に注意してください。
 - 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。
 - 端子部は手や金属で触れたり、汚したりしない。
 - 曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
 - 直射日光の当たる場所や、閉め切った自動車の中などに放置しない。
 - 水に濡らさない。
 - 分解や改造をしない。

知的財産権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しましては、当社の許諾を必要としません。

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。

- SD ロゴ  および SDHC ロゴ  は SD-3C、LLC の商標です。

- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- Roland、AIRA は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1